

# 市内企業も 子どもたちを 応援

## 熱中症対策に氷を提供

小中学校での熱中症対策に役立ててほしいと、市内の小中学校に通う児童生徒に、株式会社西日本コクボから自社製の氷を寄付いただきました。

氷は同社が市内の工場で作ったもので、水筒に補充しやすいよう、小粒なのが特長。7月下旬から小中学校が夏季休業に入るまでの1週間程度、一人当たり毎日1袋が届けられました。



子どもたちは氷を受け取ると、水筒に入れたり、容器が細長いことを生かして、首元を冷やしたりしました。



# コロナ **“夏”** を乗り切る

### 今年の夏季休業

- ・小学校（12日間）  
8月5日（水）～16日（日）
- ・中学校（9日間）  
8月8日（土）～16日（日）

夏日や猛暑日となる日が続き、熱中症にならないよう、感染防止対策と熱中症対策を講じ、安全で安心な教育環境の充実を図りました。すでに小中学校の教室に設置している冷暖房機器に加え、室内の空気を循環させるサーキュレーターを設置。体育館には風と霧を送るミストファンも備えました。写真⑥。

また、水に濡らすと冷却効果のあるクールタオルを児童生徒に配布し写真⑦。暑さが残る下校時に、小中学校で臨時のスクールバスを運行しました。写真⑧。

▼問合せ  
・教育総務課（市役所内線533）  
・学校教育課（市役所内線536）

子どもたちが学校生活を送る中で、**学校の熱中症対策を強化**

**西** 脇市教育委員会では、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国の緊急事態宣言や兵庫県の対処方針を受け、3月3日から5月31日まで小中学校を臨時休校にしました。長期の臨時休校に伴い、今年の夏季休業期間を従来の5週間から10日間前後に短縮。不足する授業時間を確保し、臨時休校で生じた学習の遅れを取り戻すための対応を取りました。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

- ① 県の中学校総合体育大会中止を受け、市独自の大会を開催
- ② 水筒に飲料水を補充するための冷水器を設置
- ③ 口元が見えるように、英語や音楽の授業ではマスクに代えてフェイスシールドを使うことも
- ④ 生徒と教師の間にビニールカーテンを設置
- ⑤ 手洗いや手指消毒を励行
- ⑥ 体育館にミストファンを設置
- ⑦ クールタオルを部活動でも活用
- ⑧ 小学校から2キロ以上離れた地域から通う児童を対象に臨時のスクールバスを運行